

各施策による移住定住の実績（令和7年度）をお知らせします。

伊那市では人口減少に歯止めをかけるため、様々な移住・定住施策に取り組んでいます。

田舎暮らしモデルハウス等によるお試し暮らしやふるさとワーキングホリデー等による体験を通じた関係人口の創出。また、いな住まいる補助金等による定住支援など、充実を図りながら移住定住を推進しています。今回、令和7年度の各施策による移住定住の実績がまとまりましたので、お知らせします。

1 事業の主な概要

(1) 移住者数 158組 371人

※移住相談や空き家バンク、補助金等、市の支援を受けて移住された方

(2) 年代別移住世帯数 40代以下の世帯 81.6%

(3) 移住相談件数 919件

※対面、オンライン、相談会、メール、電話などによる相談件数

(4) 空き家バンク登録・成約数 新規登録物件数 95件 成約件数 72件

(5) 田舎暮らしモデルハウス利用者数 77組 247人

※最長3泊4日まで 1棟（定員最大9人）5,000円/泊

(6) 社会動態の推移 281人の転入超過

2 考察

令和7年度実績では、移住者数が過去最高の371人（前年比13人増）となり、社会動態も2年連続で200人を超える転入超過となった。引き続き自然環境や子育て・教育環境を求めるニーズが高く、40代以下の世代が全体の8割を占めている。また、空き家バンクも、新規登録物件数95件、成約件数72件で、いずれも過去最高で、制度の浸透や安価で住宅が購入できることも好調の一つとなっている。さらに、「いな住まいる補助金」などの定住支援策による若年世代の転出抑制効果もあり、社会動態は281人の転入超過であり、昨年度を超える大きな転入超過となった。

3 添付資料 有

[本件に関するお問い合わせ先](#)



